
雨の日

夢月@

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雨の日

【コード】

N3361Z

【作者名】

夢月@

【あらすじ】

雨の日にやってきた彼女。それを迎える僕の話。

短いですが、暇つぶしにどうぞ

起きてすぐ窓を覗いたら雨が降っていた。暇だなあ、とベッドにごろんと寝転がりたまたま目についた小説を読む。お昼はどうしようか、そもそも今何時なのだろうか。動く気力もないのに、それを嘲笑うがごとく携帯が鳴った。携帯は部屋の隅に放置してあり、ベッドから手を伸ばしても届かない。重い腰を上げて、携帯を手に取る。別に急ぐ必要もないけど、携帯の画面を見たらあの人からだったので、さっと文面を読み急いで返事を打つ。急いでいたので何回か打ち間違えてしまったが、なんとか返信した。息をつき、ゆっくり彼女からのメールを読む。

今から先輩の家に行ってもいいですか。

絵文字も何もない。殺風景な文章ではある。これには即答でいいよと打った。こちら絵文字は無い。

ああ、そういえばコーヒーきらしてたことを思い出す。近くのコンビニに行けば、彼女が来る前には帰ってこれるだろう。急いで着替え、顔を洗い歯を磨いて、財布を持っていざ出発。扉を開けると、雨の日特有の匂いが鼻をかすめた。しかし、その匂いとは別の、少し甘い匂いを感じられる。理由は明白、目の前に彼女が居たからだ。

「こんにちは。もしかして、これからお出かけの用事でもありましたか？」

「いや、大したことじゃないから大丈夫。じゃあ、中に上がって」

彼女は、上がるのを少しためらった。なんと彼女は傘を持っていなかったのだ。服は雨にあたり、ぬれていた。急いでタオルを持ってきて渡すと「ありがとうございます」と言って、髪や腕を拭き始

めた。「気にしなくていいよ」と声をかけると、今度は素直に家へ上がった。

「早く来てすみません、たまたま先輩の家の近くにいて、雨が降ってきて」

少しだけ申し訳なさそうに頭を下げる。

「それで雨が止むまでこの家で雨宿りをしようと思いついた、当たってる？」

「当たり前です」

前にもこういうことが度々あったので予想はついていた。彼女が悪戯っぽく笑うのでつられて笑う。玄関から部屋に移動する。雨はまだ止まず、それどころか激しくなってきたような気がする。天気予報では確か、今日は晴れだといっていた。

部屋に着くと彼女は窓を見つめながら言った。

「雨の日って好きですか？」

その質問になんて答えようか。彼女は何かに期待するように熱を込めて言った。一応、考える素振りを試してみる。しかし答えはもう決まっていた。

「どっちかっていうとあり」

「そうですね、良かったです」

何が良かったかは聞かない方がいいのかもしれない。自分なりに解釈しておこう。

それから他愛もない話をした。雨の話題はお互いしなかった。時

計が2時を回りそろそろ帰るといつ時、何も出せなかったことを詫
びた。

「コーヒーとか出せなくてごめん」

と、いつと彼女は少しだけ笑った。

「お構いなく、今度はコーヒーじゃなく紅茶でお願いします」

今度があるんだな、と彼女の言葉を噛み締めた。

「雨の日、私も好きですよ」

玄関で靴を履いている時、思い出したように呟いた。前の話から
何の脈絡もないけどすぐに何のことかわかり、「良かった」と心の
中で呟いた。

だって君が来るから雨が好きなんで、言えないじゃないか！

(後書き)

ショートショートを目指してかいたものです

別所がかいていたものを、少しだけ加筆修正しました(´、´)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3361z/>

雨の日

2011年12月11日16時50分発行